

ささえ愛

北宇和高等学校
人権委員会
2025 10月号

気温が少しずつ下がってきて、秋らしい気候になりつつあります。落ち着いて学校生活を送っている人もいれば、さまざまな悩みを抱えながら過ごしている人もいることでしょう。自分自身を大切にしながら、相手や周りの人にも思いやりを持って接してほしいと思います。そして、ときには、自分の言動を振り返ってみましょう。



人の行動の裏側にある形について

図書・研修課 鈴川 浩司

あなたは、すぐに泣く人のことを弱虫だと思っていませんか？

涙を流せる人は、自分の感情と正直に向き合える人です。目の前で起こっていることにも正直に向き合える人です。人は心をオープンにしているから泣けるのです。その正直さは、確実に成長へとつながっていきます。自分の弱さを認められることは強さの証です。

泣けない人の方が、実は心を閉ざしているのかもしれませんが。自分の弱さを知られて傷つきたくない。結局物事に正面から向き合えなくなる。それでは弱いままです。

人に弱さを悟られても、傷つかない。それは強くないとできないことです。

では、笑っている人はどうでしょうか？

いつも笑顔の人は、その笑顔の向こうで、誰よりも自分と戦っている人が多いように思えます。周りには迷惑を掛けたくないし、心配をさせたくない。だから笑って自分を偽装する。優しい人です。でも無理をしてはいけません。

優しい人は、厳しさと戦っている人が多いように思えます。表面的な優しさではなく、本当の優しさを持つ人は、自分の中の厳しさや怒りや負の感情と向き合い、それでも優しさを選び取った人です。それは簡単に手に入るものではないはずです。

普段私達が見ている人の姿は、その人の一つの形でしかありません。

安易に人を判断したり、表面的な姿だけで決めつけたりしてはいけません。

だからこそ、人を見て、場にそぐわないとか、気に入らないとか、正義に反しているとか、そのような感情を、人を傷つける理由にしてはいけません。



※ 人権だより「ささえ愛」では皆さんの感想、人権についての考えを募集しています。

感想・意見 () 年 () 組 ()

切り取り線

「デートDV」出前講座

9月18日(木)、本校北辰館にて1年生を対象に「デートDV」出前講座が行われました。人権擁護委員の方々に来ていただき、事例を交えながらデートDVについて詳しくご説明いただきました。自分も相手も大切にするために、どのような関係を築いていくべきかを考える貴重な機会となりました。講座後の感想には、「デートDVが思っていたより身近な問題だとわかった」「困った時は相談することが大事だ」「被害者にも加害者にもならないように気をつけたい」といった声が多くありました。



9月号の感想を紹介します。

1年生

・人のことをこういう人だと決めつけずに、その人自身をしっかり見るのが大切だと思いました。

・私は差別をしないように気を付けているつもりです。そして、そのような場面を見たら何か行動したいと思っています。

2年生

・「知る」ということは結構できていると思いますが、「行動する」ということがあまりできていないので、行動していきたいと思います。

・差別やいじめは現在の日本でもまだ続いているので、差別などをなくすために一人一人の理解が必要になると思いました。私も差別についてもっと理解を深めたいと思いました。

3年生

・差別問題について知り、正しい知識を身に付け、しっかり考えて行動することが大切だと思います。

・私も人を「〇〇な人」と決めつけるのではなく、一人の人間として向き合うことが必要だと思いました。

9月号は、無意識のバイアスや「行動する」ことの大切さについて考える記事でしたね。

